

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日作成

事務事業名	民生・児童委員協議会活動助成・支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 古武城 卓
	施策	17	生活困窮世帯の自立支援	所属課	社会福祉班	担当者名 狩野紀彦
	基本事業	55	生活の支援	所属班	社会福祉班	(内線) 2136
				法令根拠	民生委員法・合志市補助金交付規則	

予算科目	会計 1	款 3	項 1	目 1	事業連番 10544	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 6	コスト削減優先度評価結果 2
------	------	-----	-----	-----	------------	----------------------------------	-----------------------------------	-------------	----------------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和23 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
合志市民生委員・児童委員協議会連合会へ補助金を支出した。補助金は東部民児協議会・西部民児協議会それぞれに分配される。両民児協の活動に寄与する。
【業務の流れ】
①合志市民生委員・児童委員協議会連合会から事業承認申請書を受理②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受理⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受理⑦補助金の交付⑧実績報告書を受理⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)⑩県補助金申請事務⑪協議会定例会、役員会への参加(東部・西部とも24回)
【主な予算費目】
1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 民生・児童委員の活動に対し補助金を交付した。 定例会・部会へ出席した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度同様。改選に向けての地区割り、増員等の協議を行う。
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間 H → イ 定例会・各部会開催回数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ①民生委員児童委員協議会 ②民生委員児童委員	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 民生委員児童委員数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ①民生委員活動を円滑に行える ②民生委員活動を円滑に行われるように、その活動に必要な知識を入手できる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 出席率 % → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域福祉の充実 (誰もが安心して暮らすことの出来る地域社会)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 定例会の中で協議でき、解決できた地域福祉課題数 件 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
		都道府県支出金	千円	419	419	419	419	419	450		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	8,871	8,871	8,957	8,957	8,629	8,629	9,200		
	(A) 事業費計	千円	9,290	9,290	9,376	9,376	9,048	9,048	9,650		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2			
延べ業務時間	時間	75	75	80	80	80	80	80			
(B)人件費計	千円	298	299	318	318	318	318	318			
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,588	9,589	9,694	9,694	9,366	9,366	9,968			
活動指標	ア H イ 回		24 30	24 36	30 40	30 40	30 40	30 40	30 40	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	ア 人 イ		83	85	85	85	85	85	90		
成果指標	ア % イ		80	90	90	90	90	90	90		
上位成果指標	ア 件 イ		24	24	24	24	24	24	24		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和23年に民生委員法が制定され、協議会が設置された時点から開始している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・合志市においても高齢世帯、ひとり暮らし世帯が増加してきている。
・民生委員児童委員に対する要望が多岐にわたってきており、なかなか手数が少なくなっている。また年齢要件(新任65歳未満、継続75歳未満)があったがH19年度緩和された。
・平成19年度に3年ごとの一斉改選が実施された。国からの指針が遅れたため、定数の見直しが出来なかった。市南部地域での人口増が顕著なため平成22年度の一斉改選前に協議を重ねていくことが必要。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・協議会からは補助額を増額して欲しいとの要望を聞いている。
・県外研修を予定しているので、補助額を増額して欲しいとの要望を聞いている。
・近隣市町村の補助金と比較して高い現状がある。
・民生委員に対して無理な要望をする市民もあり、なり手の減少に拍車をかけているところもある。

事務事業名	民生・児童委員協議会活動助成・支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	社会福祉班
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・民生委員児童委員の活動(補助)を支援することにより、委員の活動が活発になり、ひいては地域福祉の充実(誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉)に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 民生委員法第14条の規定により「福祉事務所やその他関係行政機関の業務に協力すること」あり、市との関係が必要不可欠であることから妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ①出席率：ほぼ達成されている ②知識を入手できた人数と割合：70～80%位である
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 様々な福祉サービスの窓口となっており、市やサービス事業体との橋渡しをしているので、そのために知識を高めることが必要であるが、その機会が損なわれる恐れがある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) 合志市社会福祉協議会や他団体が行う類似事業がある。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 事業主体が異なるので統廃合は出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の内訳として県、市の補助がある。現状では一人当たりの積算になっており定数が決まっているので削減の余地は無い。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務の内容③「補助金の内示」等プロセスを見直し、削減の余地があると考えられる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 協議会運営のために、各委員から会費を取って運営している。 民生委員活動を円滑に行ってもらうための補助であり、負担を求める性格の物ではない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	民生・児童委員は民生委員法で定められた団体であり、地域福祉の充実のためには削減の余地は少ないが、補助金の支出等に携わる職員の人件費の削減や他団体との連携によって効率化・削減を図ることができる。 ①目的妥当性については、適切。 ②有効性については、合志市社会福祉協議会や他団体が行う類似事業があるので、統合を図っている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・交付申請等の事務の効率を図ることができる。 ・民生・児童委員協議会の総務会と毎月の打ち合わせを実施することで、より連携を図ることができる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

年齢要件で縛りはあるものの、地域の人材を幅広く発掘する必要がある。そのためには区長会との連携をとり発掘に努めていく必要がある。交付申請等の事務効率を図る。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)